

令和4年度 第4回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和4年12月23日（金）午前10時～

場所：犬山市役所 2階 205 会議室

出席者：19名中17名

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

2 あいさつ

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し本日は17名が出席で、過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。
傍聴者（3名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。協議事項②、③の質疑応答のため、国際開発コンサルタント（1名）、また報告事項①の質疑応答のため名鉄西部交通（1名）の出席を報告する。

3 議事

【磯部会長】 議事要旨の署名に、飯坂委員、安藤(裕)委員を指名する。

(1) 協議事項

①令和4年度における地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）について

【事務局】 資料1-1～1-6の説明を行う。

【磯部会長】 毎年実施しているもので、これまでも様々な指導をされている。幹線を支えるものとしてフィーダー路線がある。

【本田委員】 資料1-3のP10,11でコミバスの実績があるが、年間利用者数の目標値が異なっている。P12,13で課題をまとめているが、課題③④は前段部分とのつながりが薄い。

【事務局】 目標値については、P10が正しいので、P11を修正する。P13の課題とのつながりについては、P11の考察の記載を修正する。また、達成状況のみならず、昨年度との比較についても検討する必要があると考えている。

【磯部会長】 パス券についてはどういう経緯で課題に入れたのか。

【事務局】 新規購入者が伸び悩んでおり、期間や料金を検討する必要があると考えている。

【飯坂委員】 資料1-3のP7について、キャッシュレス決済の利用者が少ないが、どう考えているか。また、課題③のパス券については、リピーターが多いのではないか。

【事務局】 キャッシュレス決済については、高齢者だけではなく、通勤・通学など他の利用者を対象に導入しており、PayPayは初期費用がかからないので選択した。利用者は少ないながら徐々に増え、月に50人以上になってきている。パス券については購入者を正確に把握していないが、通勤・通学で利用している方が更新をしていると感じている。

- 【磯部会長】 無料、現金、パス券、キャッシュレス決済といった支払い方法については、利用割合等を今後把握できると良い。
- 【磯部会長】 事務局の方で修正する内容があるが、提示された方向性でよろしいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

②地域公共交通計画（案）の策定について

- 【事務局】 資料2の説明を行う。
- 【安藤(和)委員】 安全安心なまちづくりについては、行政だけでなく事業者も一緒に、公共交通に限らずトータル的に検討してほしい。また、キャッシュレス決済については、観光分野との連携を考えると交通系 IC カードを入れるのがいいのではないか。
- 【事務局】 防災についての詳細な項目を計画に記載することは難しいが、交通計画には全体的な方針を記載し、具体的な防災計画等はこの計画にぶら下がる形で作成していきたい。防災交通課なので、防災と交通が連携した取り組みができると考えている。キャッシュレス決済については、費用面、事業者との連携を踏まえて検討していきたい。
- 【磯部会長】 キャッシュレス決済については、基本方針の乗継環境や事業者連携という部分に関係するので、具体的な施策については今後検討してほしい。防災については、高齢者等避難は市が責任を持ってやっていかなくてはいけない。交通の観点も含めて検討してもらえると良い。
- 【花村委員】 名鉄は犬山市を拠点として活動する企業であるため、防災も含めたまちづくりにも貢献していきたいと考えている。キャッシュレス決済について、IC カードの導入は費用面が課題となるので難しい部分もあると考えている。キャッシュレス決済と関係することとして、基本方針にはDXやデジタルに関する部分も加えてもらえると良い。
- 【飯坂委員】 基本方針3について、近年環境保全を目的とした電気自動車など様々な実証実験が実施されているが、そういった内容も盛り込んではどうか。
- 【事務局】 全国的な社会情勢としては環境問題について記載があるが、課題や基本方針には記載がないので、基本方針3に環境の視点も追加を検討していきたい。
- 【安藤(和)委員】 名鉄バスグループの知多バスでは電気自動車の取り組みを始めているので、協力できるのではないか。名鉄バスから市へ、そうした情報が提供されていないことが課題ではないか。
- 【磯部会長】 様々な取り組みの可能性があるのであれば、掲載してもいいのではないか。事務局の方で修正する内容があるが、提示された方向性でよろしいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

③わん丸君バス再編について

- 【事務局】 資料3の説明を行う。
- 【工藤委員】 再編について、現在バスが走っていないルートについては試走が必要。今井前原線

の岩穴バス停付近には転回する場所がない。ダイヤについても実走して検討していく。

【事務局】 岩穴バス停付近の転回については、近くにある犬山カンツリークラブの駐車場で転回できるように調整したいと考えている。

【飯坂委員】 福祉活動センターは利用者が多いので、バス停を設置してもらえることになってありがたい。再編はいつ実施するのか。

【事務局】 交通会議での承認や運輸局への申請、周知等の手続きに時間がかかるため、令和5年12月1日の再編となる。

【磯部会長】 その間の対応についてはまた考えていただきたい。

【本田委員】 令和6年4月に運転手の労働時間の基準が改訂される。ダイヤ設定については、それも考慮して検討してほしい。1日の拘束時間が、現在の16時間から15時間に変更になる。詳細はまた改めて会議の場で報告する。

【小澤委員】 楽田地域は西部東部が分断されている。駅で乗り換えなければ西から東へ行けないので、一部の便でもいいので乗継なしで移動できないか。カワムラ整形へ行く高齢者が多いので、検討してほしい。

【事務局】 西楽田団地の方の要望は、これまで中央病院や犬山駅へ行きたいという意見が中心だった。今回の再編案では、そちらの方向へのアクセス時間は短縮される。楽田内部での西と東の移動については、乗継のダイヤを調整するなどして対応したい。

【磯部会長】 現在土日運行をしていない理由は何か。

【事務局】 費用が一番大きな課題で、運転手不足もある。

【松浦委員】 土日は平日とは利用が大きく異なる。観光客の利用はあまり期待できず、他市の実態も見ると、平日よりも利用者は大幅に減少すると考えられる。

【事務局】 アンケートで土日運行を希望する声はあるが、費用対効果が課題と考えている。

【飯坂委員】 高齢者は、土日は外出を控え、平日に外出するという意識がある。利用者が少なくなる土日の運行の必要性はあまり感じない。

【花村委員】 広域の移動を促進するという視点では、土日の運行は地域の活性化につながる。すべての路線を土日運行するのではなく、一部でもいいのではないか。

【磯部会長】 一部で実験的に実施してみても良い。近隣市町の状況や、土日は市内のどこに人が集まるのか、移動が多い時間帯はいつなのか、そうした傾向を調査して検討してほしい。

(2) 報告事項

① デマンド交通実証実験の進捗について

【事務局】 資料4-1、4-2の説明を行う。

【委員】 意見なし

(3) その他

① 高齢者タクシー料金助成事業の検証にかかる意見聴取について

【上原委員】 資料5の説明を行う。

【安藤(和)委員】 他市でも要望は大きい。国の補助はなく、各自治体で実施しているので、制限をつ

けないと持続が難しい。乗務員不足もあり、運賃も上がる。使いやすいタクシーでありたいが、タクシー事業者としては厳しい状況である。

【飯坂委員】 交通弱者への補助には感謝している。85 歳以上の 50%以上が要介護というのは自分の感覚と違うが根拠はどうなっているか。また、利用率 34.2%となっているが、算出方法は予算に対する消化率なのか。複数人で1台を利用した場合はどうなるのか。

【上原委員】 要介護者の割合については、昨年度末の 85 歳以上の人口と要介護認定者数から算出している。また、利用率 34.2%は、利用枚数を発行枚数で割った数字で、予算は前年度の利用状況を加味して設定しているため、利用率 100%を目指しているわけではない。議会では、使い勝手より助成額の増額を求められているが、限られた予算の中で検討していかなければいけない。現行の制度を維持しながらサービスを継続していくためには、現在がベストと考えている。

【磯部会長】 発行はしているが利用していない方がいるということか。希望した方がもらえるものなのか。

【上原委員】 継続や新規の希望は毎年確認しているが、様々な理由があるため、受け取った枚数を全て使い切るとは限らない。

【磯部会長】 実利用者数など、資料の見せ方も重要。対象人口は今後増えていくので、予算は必要。

②交通情勢と交通事故防止について

【鈴木委員】 愛知県は大阪府に次いでワースト2の交通事故数。年末は交通事故が増える傾向にある。薄暮時間帯は交通事故に注意してほしい。

【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。

【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和5年3月24日 10:00～ 201・202・203 会議室にて実施する。

以上

令和 5年 1月 6日

本書は、令和4年12月23日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 安藤 裕文

署名人 飯坂 正